

■9月21日 (日) 午後

会場	工賃-127
	(定番) 深成岩・変成岩*
	座長：柚原雅樹 (203-206), 亀井淳志 (207-209, R2-05), 外田智千 (R2-06~08, 210)
14:00	14:00 O-203 東南極ドロンピングモードランド・セールロンダーネ山地に分布する変成超苦鉄質岩複合岩体の変成作用。小山内康人・豊島剛志・馬場壮太郎・外田智千・中野伸彦・足立達朗
	14:15 O-204 東南極ドロンピングモードランド東部のセールロンダーネ山地中央部における大構造と変形作用。豊島剛志・小山内康人・馬場壮太郎・外田智千・中野伸彦・足立達朗
	14:30 O-205 東南極セールロンダーネ山地中央部に産する高度変成岩類における複変成イベント分離の試み。外田智千・足立達朗・中野伸彦・小山内康人・豊島剛志・馬場壮太郎
	14:45 O-206 東南極・セールロンダーネ山地アウストカンパーネ地域南部に分布する炭酸塩岩の成因。中野伸彦・小山内康人・外田智千・豊島剛志・馬場壮太郎・足立達朗
	15:00 O-207 東南極, セールロンダーネ山地ブラトニーパネ地域における変成作用。馬場壮太郎・豊島剛志・小山内康人・中野伸彦・足立達朗・外田智千
	15:15 O-208 東南極セールロンダーネ山地・ブラトニーパネに産する珪長質斜方輝石片麻岩と珪長質角閃石黒雲母片麻岩との成因的関係。足立達朗・小山内康人・豊島剛志・馬場壮太郎・外田智千・中野伸彦
	15:30 O-209 南極, 昭和基地付近のグラニュライト相変成地域に産出する火成紅柱石。廣井美邦・本吉洋一・外田智千・白石和行
	15:45 R2-05 (鉱物) 東南極リュッツォホルム岩体ランドボグスヘッタ産グラニュライトのザクロ石斑状変晶中の大隅石, スピネル+石英包有物。川崎智佑・中野伸彦・小山内康人
	16:00 R2-06 (鉱物) インド東ガート帯のSHRIMP年代: 東ガート/ライナー帯との関係。Bose Sankar・有馬 真・Dunkley Daniel
	16:15 R2-07 (鉱物) Pre-2.9 Ga charnockite magmatic events in the Ntem complex-Congo craton, recorded by/from SHRIMP zircon geochronology. Takam Talla・Arima Makoto・Dunkley Daniel
	16:30 R2-08 (鉱物) Petrological evolution of the southern part of Ranotsara Shear Zone, Madagascar during the Pan-African event: metamorphism and melt/fluid-rock interaction. RAKOTONANDRASANA Nirihaja Othon Thierry・ARIMA Makoto
	16:45 O-210 中国雲南省・三江地域 (ツァンシャン山地) に分布する苦鉄質変成岩類の変成作用。米村和紘・小山内康人・中野伸彦・大和田正明・馬場壮太郎

工賃-224
(定番) 堆積相と堆積システム
座長：中条武司 (122-124), 北沢俊幸 (125-128)
14:00 O-122 北海道北部地域幌延町に分布する下部更新統更別層のシーケンス層序。北沢俊幸・重野聖之・小板橋重一・宮坂省吾・新里忠史・保柳康一
14:15 O-123 東アジア東縁部の前期白亜紀堆積盆の堆積サイクル。坂井卓・太田亨・平野弘道・田中智史・相田和明・り がん
14:30 O-124 新潟県新津丘陵とその周辺に分布する鮮新統椎谷層相当層 (金津層) のタービダイトシステムの変遷と海水準変動。保柳康一・井藤理一郎・熊田祐子・小平千尋・磯野 大・荒戸裕之
14:45 O-125 横ずれ断層による堆積盆の後退と周期的な岩相変化: 四国中央部の和泉層群。野田 篤・利光誠一
15:00 O-126 琉球弧に沿う始新世四万十帯の堆積相と堆積システム。福田泰英
15:15 O-127 各種堆積盆の沈降パターンとマスバランス論に基づく堆積システム累重・堆積盆埋積様式の類型化。高野 修・ヘラー ポール・シェ シャンヤン
15:30 O-128 小規模な海進によって形成される海浜堆積物中の泥層: 大分県中津地域の例。中条武司・山下翔太
(定番) 炭酸塩岩
座長：足立奈津子 (118-121)
16:00 O-118 揚子地塊南部で特徴的なペルム系とトリアス系の接触様式 - 微生物岩形成直前の環境変遷との関連 -。江 洋一・劉 建波・田端祥世
16:15 O-119 鹿児島県喜界島南西方島棚上での沈水サンゴ礁の発見-IODP琉球サンゴ礁掘削へ向けて。松田博貴・荒井晃作・井上卓彦・町山栄章・佐々木圭一・井龍康文・杉原 薫・藤田和彦・奈良正和
16:30 O-120 タヒチ島の天水・海水・間隙水の同位体・化学組成。山田 努・KollingMartin・松田博貴・浅海竜司・相澤省一
16:45 O-121 アラゴナイト質トラバーチンのラミナ形成における微生物の働き。奥村知世・白石史人・長沼 毅・幸村基世・高島千鶴・西田伸・小池裕子・狩野彰宏

工賃-321
(定番) 海洋地質
座長：池原 実 (103-106), 板木拓也 (107-110), 三浦 亮 (111-114)
14:00 O-103 CO <sub>2</sub> REef Front (COREF) 計画の紹介。井龍康文・松田博貴・町山栄章・Werner E. Piller・Terrence M. Quinn・Maria Mutti
14:15 O-104 北西太平洋の海山から採取された炭酸塩岩の組成の時代変遷とその要因。高柳栄子・井龍康文・尾田太良・佐藤時幸・千代延俊・西村 昭・中澤 努・塩川 智
14:30 O-105 最終水期終了後のベアリング海における生物生産の十年規模変動。板木拓也・香月興太・内田昌男・Khim Boo-Keun・多田隆治
14:45 O-106 下北東方沖IODP CK06-06 C902-9001Cにおける底生有孔虫群集の層位分布 (概報)。長谷川四郎・内田淳一・大井剛志・尾田太良・堂満華子・西 弘嗣
15:00 O-107 底生有孔虫群集からみた最終水期以降における日本海南部の上部漸深海帯の環境変化。大井剛志・内田淳一・板木拓也・長谷川四郎
15:15 O-108 第四紀深海底堆積物に記録された水銀含有量と気候変動の関係。小島 淳・北 逸郎・林辰弥・長谷川英尚・千代延俊・佐藤時幸
15:30 O-109 白鳳丸KH07-4次航海における南大洋インド洋区での反射法地震波探査概要と堆積物コアの岩相層序。池原実・中村恭之・野木義史・香月興太・三浦英樹・菅沼悠介
15:45 O-110 日本海南東部における堆積物収支試論。片山 肇・板木拓也・池原研
16:00 O-111 日本海東縁におけるガスハイドレート鉱床の集積と崩壊。松本良
16:15 O-112 薩摩硫黄島長浜湾の浅海熱水系: 鉄質沈殿物と赤褐色海水の長期観測。二宮知美・清川昌一・高下将一郎・小栗一将・山口耕生・伊藤 孝・池原 実
16:30 O-113 反射法地震探査および「しんかい6500」による観察から推定される日本海溝陸側斜面内断層。辻健・伊藤喜宏・藤本博巳・木戸元之・芦寿一郎・YK08-06乗船研究者
16:45 O-114 南北大東海盆の構造と堆積層。樋口 雄・柳本 裕・神田慶太

それぞれに (S)・(O) の通し番号がついています。\*印の合同セッションにおいては、鉱物科学会側の講演には鉱物科学会の講演番号と (鉱物) がついています。

日本地質学会第115年学術大会 講演プログラム (口頭)

■9月21日 (日) 午後

会場	工資-320	般 1 -302	般 1 -305
	(定番) 地学教育・地学史	(定番) テクトニクス	(定番) 地域地質・地域層序
	座長：矢鳥道子 (253-262)	座長：丹羽正和 (153-155) 内野隆之 (156-158) 大坪 誠 (159-162) 加藤直子 (163-165)	座長：吉川敏之 (73-76), 川村寿郎 (77-80), 堀内 悠 (81-84), 菅森義晃 (85-86)
14:00	14:00 O-253 高大における地学の科目選択の現状と課題, 大久保 敦	14:00 O-153 かぐや (SELENE) 搭載月レーダサウンダー (LRS) による地質構造の観測, 山路敦・山口靖・押上祥子・小野高幸・熊本篤志・中川広務・小林敬生・笠原禎也・大家 寛	14:00 O-73 フランス南東部の白亜系Cenomanian/Turonian境界の統合層序と古環境の検討, 高嶋礼詩・西 弘嗣・林圭一・川幡穂高・山中寿朗
14:15	14:15 O-254 環境教育と防災教育のための地学公開資料の活用, 細山光也	14:15 O-154 ヒマラヤの変成岩ナップの前進・冷却とその造山運動におけるテクトニックな意義, 酒井治孝・檀原 徹・岩野英樹・瀧上 豊	14:15 O-74 シリア, ラッカ県ガーネム・アル・アリの地質-考古学と地質学のコラボレーションの試み-, 東田和弘・星野光雄・桂田祐介・斉藤 毅・吉田英一・田中 剛・中村俊夫
14:30	14:30 O-255 2004年新潟県中越地震を地域素材として取り上げた「地震の伝わり方」の授業実践, 結城義則	14:30 O-155 インドとユーラシアの衝突によるチベット高原形成のFEシミュレーション, 林大五郎・Chamlagain Deepak	14:30 O-75 マダガスカルからイタコルマイト (こんにやく石) の発見とその意義, 鈴木博之・蟹江康光・蟹江由紀・Rambelosen R.A.・Ramasiarino V.
14:45	14:45 O-256 小型SEMを用いた地学教材の開発, 鈴木芳行・川村寿郎・青木守弘	14:45 O-156 韓半島の中生界から読み解く古太平洋プレートの沈み込み過程を反映した大陸側の挙動, 江川浩輔・崔 兌鎮・李 谷鎔	14:45 O-76 バングラデシュ, ベンガル低地中央部の完新統, 鈴木茂之・Rashid Towhida・Bhuiyan Mohammad A. H.・大井信夫
15:00	15:00 O-257 教員参加型「野外観察データ共有システム」:「学区のなかのたからもの」の紹介, 伊藤 孝	15:00 O-157 濃尾断層帯におけるAMT法電磁探査による比抵抗構造, 松田達生・小村健太郎・山田隆二	15:00 O-77 宮崎県五ヶ瀬地域の下部白亜系から産出したテチス型動物群の意義, 高橋 努・田中 均・加登住誠・本多栄喜
15:15	15:15 O-258 学芸員と教師との協働による身近な自然の教材化の試みと教師教育プログラムの開発, 平田大二・田口公則・一寸木 肇・飯島俊幸・尾崎幸哉・露木和男・五島政一	15:15 O-158 市之川時階 (70-60Ma) の正断層運動の証拠:中央構造線沿いの領家花崗岩中のヒールドマイクロクラックによる古応力場解析から, 高木秀雄・会沢辰介・山田哲史	15:15 O-78 熊本県八代山地東域の下部白亜系の層序と構造, 田中 均・高橋努・本多栄喜
15:30	15:30 O-259 Sand for Students-地球深部探査船「ちきゅう」と連携した野外実習型アウトリーチプロジェクト, 眞砂英樹・吉澤理・五十嵐智秋・横山一己・宮下 敦	15:30 O-159 新潟堆積盆地に形成された逆断層性地震断層と重力断層の競合, 小林健太	15:30 O-79 下部白亜系関門層群塩浜層の堆積相解析, 堀内 悠・久田健一郎・Lee Yong Il
15:45	15:45 O-260 北海道大学総合博物館企画展示「ライマンと北海道の地質-北からの日本地質学の夜明け-」及びその入館者の地学に関する興味・関心の実態と分析, 松田義章・在田一則	15:45 O-160 2007年能登半島地震震源域の地質構造, 佐藤比呂志・岩崎貴哉・加藤直子・平田 直・金沢敏彦・伊藤谷生・阿部 進・斉藤秀雄・川崎慎治・野口武雄・穴田文浩・吉田 進	15:45 O-80 堆積相解析からみた島根半島東部に分布する下部中新統古浦層の堆積環境, 古川絢子・酒井哲弥・河野重範
16:00	16:00 O-261 “開拓峠”は何処か? 金 光男・紺谷吉弘	16:00 O-161 地震探査からみた甲府盆地南縁部の地殻構造, 加藤直子・佐藤比呂志・蔵下英司・阿部 進	16:00 O-81 四国中央部, 秩父帯の名野川衝上断層, 村田明広・犬房陽一・前川寛和
16:15	16:15 O-262 国士館大学が所蔵していた東京帝国大学収集の地質標本について, 楡井 尊・田口聡史・小林まさ代	16:15 O-162 長大測線統合的地震探査による中部日本地殻構造の解明とアクティブテクトニクスの再検討, 伊藤谷生・狩野謙一・池田安隆・佐藤比呂志・岩崎貴哉・津村紀子・宮内崇裕・佐藤利典・駒田希充・野崎謙治・村田和則・三宅康幸・小嶋 智・山北 聡・阿部信太郎・川中 卓・須田茂幸・阿部 進・戸村元史	16:15 O-82 西南日本の“非付加体型”地帯における碎屑岩相下部ペルム系の対比, 栗原敏之
		16:30 O-163 反射法地震探査データの再処理による関東平野の浅部 (1 km 以浅) 地盤構造の解明~東京都中部・東部, 木村治夫・中山俊雄・加野直己・木村克己	16:30 O-83 京都東南部のジュラ紀付加コンプレックス, 脇田浩二
		16:45 O-164 黒滝不整合と丹沢・伊豆の衝突, 新妻信明	16:45 O-84 紀伊半島下部中新統田辺層群の古泥火山, 中屋志津男・浜田好弘
		17:00 O-165 伊豆衝突帯の構造とテクトニクス:丹沢トータル岩類の流体包有物マイクロサーモメトリーからの推定, 石川正弘・佐々木聡子	17:00 O-85 飛騨外縁帯福地地域の前期デボン紀炭酸塩岩相の再検討, 川村寿郎・三井 類・足立奈津子
			17:15 O-86 飛騨外縁帯福地の石炭系一の谷層産腕足類Purdonellaとその古生物地理学的重要性, 田沢純一・新川 公・三宅幸雄

それぞれに (S)・(O) の通し番号がついています。\*印の合同セッションにおいては、鉱物科学会側の講演には鉱物科学会の講演番号と (鉱物) がついています。

日本地質学会第115年学術大会 講演プログラム (口頭)

■9月21日 (日) 午後

会場	般 1 -402 (トピック) ジュラ系十	般 1 -405 (定番) 環境地質	VBL-セミナー (トピック) グリーンタフルネサンス
	座長：堀利栄 (1-4), 松岡篤 (5-6), 尾上哲治 (9-12)	座長：川辺孝幸 (230-232), 田崎和江 (234-236), 興水達司 (237-239), 高嶋 洋 (240-242)	座長：松原典孝 (21-24), 天野一男 (25-29)
14:00	14:00 O-1 (招待講演) 招待日本列島のジュラ紀テクトニクス. 八尾 昭 14:15 O-2 現存科の出現からみた古生代末以後の二枚貝類の多様化. 近藤康生・佐野晋一 14:30 O-3 下部ジュラ系豊浦層群西中山層より産出する <i>Dactyloceras helianthoides</i> の層位的な形態変化. 中田健太郎・松岡 篤 14:45 O-4 九頭竜層群貝皿層 (中部ジュラ系) における <i>Pseudoneuqueniceras</i> 属アンモナイトの産出層準と計量生物学的検討. 松岡 篤・半田直人・安曾潤子・中田健太郎・寺部和伸・佐藤 正 15:00 O-5 栗坂層群セクションにおけるジュラ紀後期放散虫層序とアンモナイト年代. 石田啓祐・辻野泰之・香西 武・佐藤 正・Hirsch Francis 15:15 O-6 ジュラ紀新世放散虫化石群集の特性. 石田直人 15:30 O-7 富山県南東部の手取層群有峰頁岩部層から産したジュラ紀新世放散虫化石とその意義 (予報). 平澤 聡・柏木健司 15:45 O-8 Sr同位体にもとづく鳥巢式石灰岩の堆積年代. 柿崎喜宏・石川剛志・谷水雅治・永石一弥・川越寛子・片岸正範・狩野彰宏 16:00 O-9 北部北上帯大鳥層の石炭系～ジュラ系連続層序. 山北 聡・永広昌之・高橋 聡・鈴木紀毅 16:15 O-10 ベルム系芳井層群のチャート層最上部の年代. 伊藤 剛・松岡篤 16:30 O-11 美濃帯南部坂祝セクションにおけるトリアス系放散虫層序. 二階堂崇・松岡 篤 16:45 O-12 ジュラ紀古世海洋環境変動～繰り返すOAEs～. 堀 利栄・南林慶子・池原 実 17:00 総合討論	14:00 O-230 日本海の孤島・舳倉島の環境: 大気中のNO <sub>2</sub> , 酸性雨, クロマトの枯死, そして漂着重油. 田崎和江・川合康平 14:15 O-231 西南日本生野鉱山周辺の河川堆積物からみた元素分布. シャブトラリオ・壺井基裕 14:30 O-232 南部フォッサマグナ地域の地下水の地球化学特性と地質構造. 興水達司・小林 浩・内山 高 14:45 O-233 長野県・松代温泉の高濃度メタホウ酸温泉排水中における微生物の挙動. 佐藤和也・田崎和江 15:00 O-234 強アルカリ性pH 11におけるバイオマットの成長過程. 馬場奈緒子・田崎和江 15:15 O-235 重金属を含む鉱山排水のバイオレメディエーションをにう生態系. キーリー ブランドン・田崎和江 15:30 O-236 マツバイによる鉱山周辺の重金属汚染された水環境の浄化. 榊原正幸・大森優子・グエン チー・ホアン・ハー・佐野 栄・世良耕一郎・堀 利栄 15:45 O-237 千葉県観測井における孔内地下水の深度方向の温度分布. 古野邦雄・香川 淳・酒井 豊・風岡 治・吉田 剛・楠田 隆・風戸孝之 16:00 O-238 最も脆弱な帯水層の地下水流動特性. 高嶋 洋・佐藤賢司・楠田 隆・古野邦雄・楡井 久 16:15 O-239 養老川中流域周辺の地下水位変動の特徴. 楠田 隆・笠原豊・西川順二・吉田 剛・篠原誠一・古野邦雄・香川 淳・金城有吾・田村嘉之・風岡 修・加藤晶子・山本真理・酒井 豊 16:30 O-240 地下水数値モデルの長期予測は信頼できるのか. 藤崎克博 16:45 O-241 土壌汚染で問われる地質調査. 上砂正一 17:00 O-242 人工地層の層序 (層位). 楡井 久・メーカー ブライアン・シクナス・ヨナス・古野邦雄	14:00 O-21 再びグリーンタフの野外地質学を! 天野一男 14:15 O-22 爆発的水底噴火とその噴出物: 水底火山活動に関する最近の研究成果と, そのグリーンタフ岩相解析への潜在的貢献. 鹿野和彦 14:30 O-23 海底溶岩噴泉に由来する火山砕屑岩の岩相変化. 藤林紀枝 14:45 O-24 米山層のvolcanic conglomerateに形成されたPeperite. 寺崎紘一 15:00 O-25 東北日本, 男鹿半島館山崎に分布する火砕岩の産状と起源. 佐藤雄大・鹿野和彦・大口健志・小笠原憲四郎 15:15 O-26 水中火山砕屑岩類鍵層を用いた奥羽山脈隆起史の解明. 中嶋健・檀原 徹・岩野英樹・鎮西清高 15:30 O-27 爆発的火山噴火が与える河川堆積システムへの影響: 火山砕屑物の堆積学と古洪水研究的視点による検討. 片岡香子 15:45 O-28 堆積相解析に基づいた南部フォッサマグナ丹沢地塊における古海洋性島弧発達過程の解明. 松原典孝・京相健二・天野一男 16:00 O-29 南部フォッサマグナ丹沢山地北部における古島弧の復元. 京相健二・松原典孝・天野一男

(15)

それぞれに (S)・(O) の通し番号がついています。\*印の合同セッションにおいては, 鉱物科学会側の講演には鉱物科学会の講演番号と (鉱物) がついています。